

ukabis を活用した地域展開パッケージの仕組みを構築

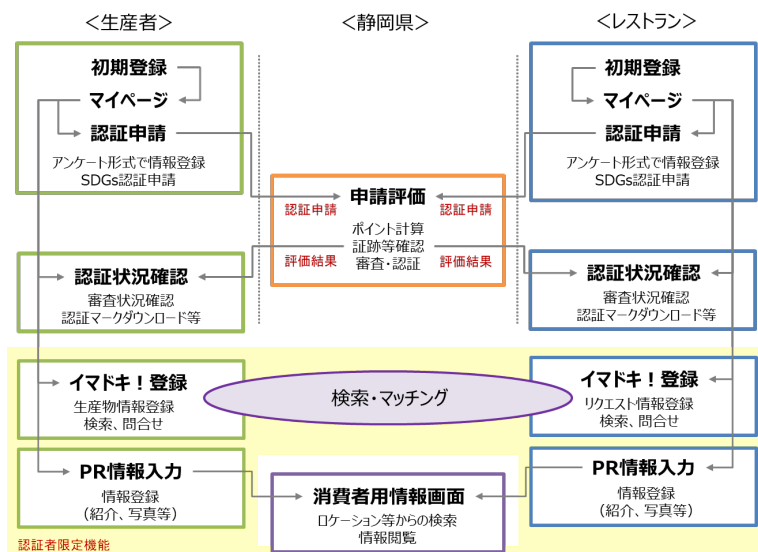
— 静岡県をモデル地域に、生産者・飲食店における SDGs 認証の実証試験を実施します —

慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：飯盛義徳）は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、スマートフードチェーンプラットフォーム（ukabis）の普及に向け、農業者、レストランに対する認証など、ukabis を用いた統合的な地域展開パッケージの仕組み構築のための取り組みを推進します。

※ 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は内閣府が科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。慶應義塾大学 SFC 研究所は、本プロジェクトの「スマートバイオ産業・農業基盤技術」において、食の生産・流通・消費を最適化するデータ連携プラットフォームの社会実装を目指して研究開発を行っています。

慶應義塾大学 SFC 研究所は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、食と農が連携した SDGs の取り組みの「見える化」を推進している静岡県（経済産業部 産業革新局・農業局）と連携し、2023 年度以降に同県で予定される、ukabis を活用した SDGs 認証サービスの本格稼働に先立ち、実証試験を実施します。

実証試験のイメージ



実証試験の詳細は、[静岡県の記者提供資料](#)をご覧ください。

※本実証実験は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「スマートバイオ産業・農業基盤技術」（管理法人：生物系特定産業技術研究支援センター）によって実施いたします。

※本プレスリリースは、静岡県と同時に新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学 環境情報学部 神成淳司研究室
E-mail: kaminari-core@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp